

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課水産しまね振興室長 三浦 順	電話番号	0852-22-5740
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	栽培漁業センター管理運営委託事業		
目的	(1) 対象	漁業者	
	(2) 意図	種苗生産業務の民間委託を実施することで、種苗生産の効率化と安定化を実現し、栽培漁業の振興による水産資源の増加と漁業経営の安定化に貢献する。	
事業概要	種苗生産業務を（公社）島根県水産振興協会に委託する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	種苗生産尾数	目標値	212.0	212.0	212.0	212.0	万尾
	式・定義	種苗生産尾数（マダイ・ヒラメ・イワガキ）	実績値	226.3				
			達成率	—	—	—	—	
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	—	—	—	—	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	109,659	100,909
うち一般財源 (千円)	69,925	71,514

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

・県の駐在員、水産技術センター、水産事務所によるサポート体制を整え、技術移転を効率的に進めた結果、平成27年度からは種苗生産業務を水産振興協会へ完全委託した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・水産振興協会が単独で、生産から中間育成、放流、効果調査まで一体的に効率よく進める体制が整った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
  - ・H21～H22年度に実施した大規模改修の対象外施設・備品の破損・故障が発生している。
  - ・種苗生産が不調だった場合の対応が必要。
- ②困っている状況が発生している「原因」
  - ・大規模改修の対象外施設・備品の耐用年数が過ぎている。
  - ・基本的な技術移転は完了したが、種苗生産は種々の要因により好不調の波がある。
- ③原因を解消するための「課題」
  - ・修繕費、備品更新費用を確保する。
  - ・H28年度以降も県が技術サポートをする必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むかの考え方）

・管財課が策定した維持保全計画に基づき修繕費用を確保するとともに、備品更新費用についても逐次確保していく。  
 ・種苗生産状況について、逐次情報を収集していき、必要時に県がサポートする。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。